

## Lesson 12 ボランティア活動

### A 義務・必要を表す助動詞 「～すべき」「～しなければならない」

1. 年配者には礼儀正しく、言葉に気をつけるべきだ。

You should be polite to the elderly and watch your language.

the + 形容詞 = 人・人々

watch 「注意する、気をつける」 e.g.) Watch your head/step. 頭上・足下注意。

2. 海に着くにはまだかなり行かないといけない。

We still have to go a long way to reach the sea.

reach 「～に着く、～に到着する」 ※前置詞は必要ない！

3. 生徒は学校の駐輪場以外の所に自転車を停めてはいけない。

Students must not park their bicycles outside the school's parking area.

4. 新しいプリンターを使う前に説明書を読んだほうがいい。

We'd better read the instruction manual before using the new printer.

had better 「～したほうがよい/～しなければならない」「～しなさい」

had better の後ろは動詞の原形。つまり「had better」の2語で1語の助動詞ととらえる。

そうすると、否定形にすると「had better not」とすればよい。

5. もっと早く飛行機の予約をするべきだった。

We should have made a flight reservation earlier.

すべきだったのに、実際はしなかった。

### B 推量を表す助動詞 「～かもしれない」「～に違いない」

6. あなたが正しいかもしれないが、違う角度から見よう。

You may be right, but let's look at it from a different angle.

may/might 「～かもしれない」という推量を表す。

may と might の使い分けについては基本的にはほとんど無いと理解して良い。

7. ジャックの話は本当であるはずがない。

Jack's story can't be true.

can には「～はありえる」という可能性の意味がある。

→ ジャックの話は本当になり得ない。→ ジャックの話は本当であるはずがない。

※ジャックの話は本当になることができない。→本当になる可能性がない。→はずがない。

8. 誰かが間違えて私の傘を持っていったに違いない。

Someone must have taken my umbrella by mistake.

must には「～に違いない」という確信の意味がある。e.g.) You must be joking. 「冗談でしょ?!」

## Expressions

1. 君はただ黙って座っているだけでいい。

You only have to do sit quietly.

2. 車を運転する時は、いくら注意してもしすぎるということはない。

You can't be too careful when you drive.

二重否定 否定を表す語が 2 つ重なって、肯定の意味になる。

e.g.) He never visits us without bringing a gift.

彼は贈り物（お土産）を持ってくることなしに私たちのところを訪れることはない。

→彼が私たちのところに来るときはいつもお土産を持ってくる。

注意) nobody や nothing のような否定語は、not のような否定の副詞とともに用いることはできない。

Nobody hates him. 「誰も彼のことを嫌いではない。」

× Nobody does not hate him.

3. お誘いありがとう。だけどそのパーティーには行きたくない気分なんだ。

Thanks for asking me, but I'd rather not go to the party.

would rather do 「むしろ～したい」 than を伴うと、「～するよりは～したい」という意味になる。

would rather を 1 語の助動詞ととらえると、否定形は「would rather not do」とすればよい。